最高金賞に2蔵元4銘柄

蒸留酒品評会TWSC

奄美黒糖焼酎15点入賞

国内外で流通する蒸留酒を対象とした品評会「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション(TWSC)2023」(実行委員会主催)の審査結果がこのほど発表され、焼酎部門で奄美黒糖焼酎15銘柄が入賞し、うち蔵元2社計4銘柄が最高金賞に選ばれた。最高金賞と金賞の上位をさらに審査し選出する最高位の「ベスト・オブ・ザ・ベスト」は、後日発表される。

TWSCは2019年に始まった日本初のウイスキー&スピリッツ品評会。20年に新設された焼酎部門は4年目を迎えた今回、274点の出品があった。

審査方法は銘柄を伏せて鑑定する「ブラインドテイスティング」。酒類に精通する国内の専門家82人で審査し、最高金賞25点、金賞127点、銀賞75点、銅賞39点を選出した。

ベスト・オブ・ザ・ベストはアルコール度数25度以下、26度以上で1点ずつ選出される見込み。前回までは3年連続で奄美黒糖焼酎銘柄が独占している。

入賞した奄美黒糖焼酎15銘柄は次の通り。

【最高金賞】Amami Rabbit=アマミラビット(奄美大島開運酒造)、FAU=ファウ(奄美大島開運酒造)、浜千鳥乃詩 原酒(奄美大島酒造)、浜千鳥乃詩 極ブラック(奄美大島酒造)

【金賞】あまみ六調(奄美大島開運酒造)、キャプテンキッド(喜界島酒造)、浜千鳥乃詩 ゴールド(奄美大島酒造)、稲乃露(沖永良部酒造)、じょうご(奄美大島酒造)、黒奄美(奄美酒類)、れんと復刻版(奄美大島開運酒造)、長期貯蔵 里の曙(町田酒造)、里の曙 ゴールド(町田酒造)

【銀賞】奄美の杜(町田酒造)、はなとり(沖永良部酒造)

TWSCで最高金賞を受賞した(右から)奄美大島開運酒造の「Amami Rabbit」、「FAU」と奄美大島酒造の「浜千鳥乃詩 原酒」、「浜千鳥乃詩 極ブラック」(TWSCホームページより引用)

2023年(令和5年)
5月19日(金)
旧暦3月30日・友引
南海日日新聞

最高金賞に黒糖4銘柄

TWSC2023焼酎部門

TWSC2023で最高金賞を受賞した「Amami Rabbit」(右)と「浜千鳥乃詩原酒」

全国各地の焼酎やウイスキーを一堂に集め開催される品評会「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション(TWSC)2023」焼酎部門の審査結果が17日発表され、最高金賞に「Amami Rabbit(アマミラビット)」(奄美大島開運酒造、宇検村)、「FAU(ファウ)」(同)、「浜千鳥乃詩原酒」(奄美大島酒造、龍郷町)、「浜千鳥乃詩極ブラック」(同)の4銘柄が選ばれた。このほか、奄美群島から金賞9銘柄、銀賞2銘柄が選ばれるなど計15銘柄の黒糖焼酎が入賞。国内外の専門家から高い評価を受けた。

TWSCは、2019年から開催される日本唯一のウイスキー、焼酎の品評会。その規模はアジア最大級で、焼酎(泡盛)部門は2020年から実施され今年が4回目。今回は日本各地から米、芋、麦、黒糖、泡盛の焼酎計274銘柄の出品があり、リモートによる一次審査と、特別審査チームによる二次審査が実施された。

金賞と銀賞の銘柄は次の通り。

【金賞】▽あまみ六調(奄美大島酒造)▽浜千鳥乃詩ゴールド(同)▽じょうご(同)▽キャプテンキッド(喜界島酒造)▽稲乃露(沖永良部酒造)▽黒奄美(奄美酒類)▽れんと復刻版(奄美大島開運酒造)▽長期貯蔵里の曙(町田酒造)▽里の曙ゴールド(同)

【銀賞】▽奄美の杜(町田酒造)▽はなとり(沖永良部酒造)

奄美新聞
AMAMI-SHIMBUN
©奄美新聞社
1959年(昭和34年8月5日第三種郵便物認可)
5月19日 金曜日
旧暦3月30日 2023年(令和5年)
日刊/第21640号